

# 慈眼

## 第9号

発行所  
 小城郡三日月町  
 仁保2554 妙蓮寺内  
 TEL・FAX  
 0952-72-5805  
 日蓮宗佐賀  
 教化センター  
 発行責任者  
 辻 智 彰  
 印刷所 中野印刷所

### 誓願の実践

佐賀県布教師会会長

正傳寺住職

静山是秀



宗祖日蓮大聖人は、御歳十二歳のとき、清澄寺に登り、十六歳で道善坊を師として出家得度なされました。後のご遺文に、「幼少より名号を唱え候し程に、いささかの事ありて、比事を疑いし故に一つの願をおこす。日本国に渡れる処の仏教並び菩薩の論と人師の釈を習い見候わばや」と仰せのとおり、釈尊のお説になつた、一切経を学ぼうと鎌倉、比叡山に登

り、約十数年間、一心不乱に勉強なされ、京都近畿の寺々の実際の姿をつぶさにご覧になり、当時の高僧といわれる人達の教えを一つお聞きになり、日本仏教への疑問はますますつのるばかりでありました。さらに、

「一つの願を立つ、我れ八宗十宗に随わじ。」というご遺文にあるとおり、血のにじむ勉強の末、法華経こそが諸経中の大王であるとお悟りなされました。法華経を弘めることが、お釈迦様の本当のみ教えを弘めることであり「恩ある人を助ける」道であるとの大自覚でありました。そして「南無妙法蓮華経」を唱え弘める我不愛身命但惜無上道、一大決心のもと、建長五年四月二十八日、清澄山旭ヶ森よりはるか東の太平洋より昇りくる大日輪に向われ、

我れ日本の柱とならむ  
 我れ日本の眼目とならむ  
 我れ日本の大船とならむ

「南無妙法蓮華経」と初めてお題目をお唱えにられました。これが立教開宗です。更に佐渡にて「上行菩薩末法の始め五百年に出現して、妙法蓮華経の五字の光明をさしだして、無明煩惱の闇をてらすべし」という事なり。」と仰せになり、ここに大聖人は自ら上行菩薩の再誕の自覚と、法華経流布の使命をはっきりと我々にお示し頂いたのであります。

平成十四年には立教開宗七五〇年の意義ある年をむかえます。この時に生を受けた私どもは大聖人の祖願実現を果すべく使命が有ります。私ども大聖人を導師と仰ぎ、遠い昔に下種結縁された法華経お題目を弘める使命を頂いている地涌の菩薩であることを、信徒一人一人が自ら自覚することが大切です。宗祖日蓮大聖人の直檀であるとの心を持って、私ども一人一人が先ず自分の身近なことから愛宗護法の念で菩提寺の護持に当たること。総ての人々にお題目を唱えて頂くよう信仰の種まきをして、仏様の恩に報じることであり、大きな功德を積む菩薩行であります。人間一生は短いもの、生きていく内に宗祖のご慈悲に対し、万分の一でも報いるべく、仏様の願行に生きることをお誓い致しますよう。

### きやくつぐる

(かいつぶり)

「資質」という言葉が言われています。今の世の乱れは政界人、財界人、役人、宗教人の「資質」の悪さかも知れません。本来「資質」とはその人が生れつき持っている性質とあります。しかし、仏様は人は生れつき平等であり元来「資質」の悪い人はいないのであります。ただ育つていく過程に於いて様々な要因が働き性質が変化するのであります。

「資質」の悪さとは、その仕事に就いた環境により決まってしまうのかも知れません。悪を悪と認識する眼を育てる事が必要です。仏様の慈眼は全ての事を見通しておられます。

願諸衆生 諸悪莫作  
 諸善奉行 自浄其意



立教開宗七十五周年  
 慶讃シンボルマーク

# 日蓮宗佐賀県青年会

## 結成四十周年記念

### インド仏跡参拝報告



日蓮宗佐賀県青年会会長

佐賀市 國相寺住職  
まつしま 正英  
松島 正英

この度、日蓮宗佐賀県青年会結成四十周年記念事業と致しましてインド仏跡参拝を企画し、昨年の十一月十六日〜二十七日に至る十二日間、参加団員二十九名、インドに渡り、お釈迦様の縁の地を巡拝して参りました。

慈眼六号七号八号に於いてお釈迦様の特集を組み、ご誕生から涅槃までの、ご一生をご紹介致しましたが、私達一行は、そのお釈迦様のご一生を実際に自分の眼で見、肌で感じて感動を覚え帰って参りました。今号では、その体験の一端をご報告したいと思います。紙面の都合で十一月二十三日までの仏跡のみご報告させていただきます。

〈十一月十六日〉

午後十二時十分、福岡国際空港をインドに向けて出発。

バンコクを経由し、インド現地時間午後十時二十三分に到着致しました。日本とは時差が三時間あり、日本では、既に翌日の午前一時半頃にあたり、初日から強行軍でありました。

〈十一月十七日〉

デリーから国内線でパトナへ移動し、バスに乗りかえ、お釈迦様最後のご説法之地ヴァイシヤリへ向かいました。この地には、お釈迦様にお水を供養する為に猿が池を掘ったという池があり、又お釈迦様十大弟子のお一人の多聞第一と言われた阿難尊者のストウーパ（お墓）が一緒

にお祀りされていきました。参拝後靈鷲山のあるラジギールへ移動。

〈十一月十八日〉

早朝よりホテルを出発し、今回の団参の目的の一つでありました靈鷲山参拝へと向かいました。靈鷲山は、山というより丘と表現した方がよい程、思ったより低いお山でございました。麓より約二十分位で山頂に着きます。団員の皆さんは、団扇太鼓に合わせてお題目を唱えながら、一歩一歩感激を踏みしめ登詣されていきました。

山頂に着くと香堂（お釈迦様が当時、お説法でお使いになったお堂）跡があり、高さ五、六十センチの高さのレンガで囲まれ、そこには、供



〈 霊鷲山山頂にて 〉

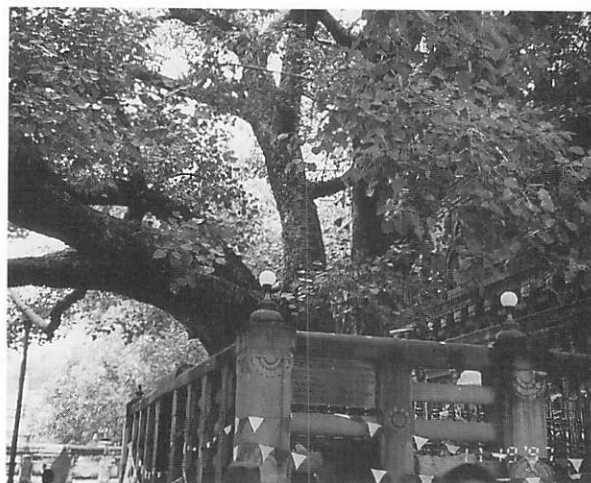
物や線香などがご供養されていきました。私達は、その香堂遺構を前にして「法華経経縁報恩感謝の法要」を五十分程営みました。お経の流れる中、団員の方々は、今自分が三千年前にお釈迦様が、この靈鷲山に於いて真実の法華経をお説

きになられたこの地で額つき礼拝させて頂いているのだと思われた時、感慨無量のお気持ちになり感激を新たにしておられました。法要が終る頃には、太陽も随分昇り、朝日を拝む事が出来ました。法要が終わり下山をし、その後は、お釈迦様に帰依をされたマガダ国の王、ピンピサーラ王牢獄跡、竹林精舎を見学しました。又当日は、五世紀に創建された全アジアの仏教研究、教学の中心でありました古代インドの仏教大学、ナーランダ大学跡を見学。ここは、東西二五〇メートル、南北六〇〇メートルに及ぶ壮大で、十二世紀にイスラム教徒に破壊されました。玄奘三蔵が滞在された七世紀には一万人もの学僧がここに住んでいたそうです。又興味深い事が、大学跡奥には、智慧第一と言われた舍利弗尊者のストウーパがあり、この跡地に舍利弗尊者が祀つてある事もうなずけました。この日は、ブツダガヤで宿泊。

〈十一月十九日〉

お釈迦様がお悟りをひらかれ成道された地がブツダガヤであり、仏教に於ける最も重要な聖地であります。お釈迦様は、菩提樹の下でお悟りをひらかれましたが、そこにはその菩提樹と台座（今剛宝座）を祀る大菩提寺というお寺があります。俗にブツダガヤの大塔とも呼ばれ、高さが五十二メートルもある塔が建てられており、最初の祀堂が紀元前三世紀のアショーカ王の頃に建てられ、現在の形になったのは、ほぼ四世紀以降の事だと言われています。私達一行は、その大菩提寺の西側にある菩提樹の木と禪定された金剛宝座の所で一読し、偉大なるお悟りに報恩のご回向を申し上げました。菩提樹の木は、さすがに三千年の歴史を感じ堂々としており、金剛宝座にはきれいな花が供養されていきました。ここでの感激も一入でございました。ブツダガヤ参拝後、お釈迦様が成道される前、前正覚山という山で六年間苦行をなされ、その

<p>佐賀の老舗</p> <p>辻の堂の仏だんや</p> <p><b>(株)本庄仏具総本店</b></p> <p>佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)</p>	<p>花と葬儀</p> <p>木下株式会社 平安閣冠婚葬祭互助会</p> <p>OMEGA ALPHA SAAL 木下株式会社</p> <p><b>草苑</b> (SOU-EN)</p>
	<p>北佐賀草苑 佐賀市兵庫町藤ノ木1115 (0952) <b>30-4040</b></p> <p>南佐賀草苑本店 佐賀市本庄町大字本庄951 (0952) <b>25-1255</b></p>



〈お釈迦様が成道されたブツダガヤの菩提樹〉

修行の後、尼連禪河という河で沐浴をなされたが、その尼連禪河を見学。そこは清らかな川幅も大きい河で砂もきれいで海辺を想像させる様でした。この後、次の目的地ガンジス河が流れるベナレスに向かいました。

〈十一月二十日〉

早朝よりホテルを出発し、ガンジス河に向かいました。到着し二船に分乗し、今回のもう一つの目的のガンジス河での「船上施餓鬼法要」を営む為に準備にとりかかりました。皆様よりお申し込み頂きました追善散華も千六百体を越え、沢山のお申し込みに心より感謝しております。法要が始まり、お題目と共にまかれる散華は、濁れるガンジス河の水に色鮮やかに浮かび、幻想的な雰囲気の中で厳しゆくに営まれました。団員の方々が涙ながらに「こんなに有難い供養は初めてでした」と大変感動されておりました。ガンジス河での法要が終わり、次なる聖地、お釈迦様が初めて法を説かれたという初転法輪の地、サルナートに向かいました。この地は鹿野苑とも言われており昔は鹿が沢山いたそう



〈ガンジス河追善散華供養〉

です。ここは成道なされる前に苦行を共にした五人の比丘に成道後初めて法を説かれたという地ですが、その説法の場所はきれいに整備され公園化してあります。

〈十一月二十一日〉

この日は、ベナレスからお釈迦様がご入滅なされたクシナガラへの移動となり、長時間のバスの旅となりました。午後二時頃クシナガラに到着し、涅槃なされた場所へ参拝。そこには涅槃寺と言われるお堂があり、その中に十メートルをこす大きな金色の涅槃像が横たわっていました。涅槃像をお参りし、お堂を出て裏の方へ回りました。お堂のすぐ裏には、お釈迦様のレンガ造りのストウーパが建っており、厳密に言いますとそのストウーパの所で、お釈迦様が涅槃されたとの事でした。そして又、我々が驚いたのは、お釈迦様のストウーパの横に何と提婆提多のストウーパが祀ってあった事です。提婆提多の中で罪深い提婆でしたが、お釈迦様は提婆こそ私の師匠であり、提婆がいたればこそ自分は成仏出来たのだと説かれておられます様に、その教えそのもの通りにお釈迦様の隣に祀ってある事に感激を覚えました。

〈十一月二十二日〉

クシナガラからお釈迦様の誕生の地ルンビニーへ向かいました。到着後マヤ堂と言われる小さなお堂に入り、お釈迦様がお産れになった場所に眼を向けますと、金色の小さな誕生仏の像が安置してありました。そして、マヤ堂の近くに出産されて産湯が使われたという池もありました。

〈十一月二十三日〉

ルンビニーからお釈迦様が出家されたというカピラ城があるバルランプールへ向かいました。太平洋の中にカピラ城はありましたが、お城の遺構の他に本当のお釈迦様の舍利があったというストウーパもありました。しかし、カピラ城は、ネパールにもあるという事で今現在どちらが本当なのか結論は出ていないそうです。この後、お釈迦様が信者から寄進を受けた修行の道場、祇園精舎跡に参拝。ここもきれいに整備され、緑の中にあるのかな所で、お釈迦様がお住まいになったという香堂跡に参拝した時には、お釈迦様の息遣いが聞こえてくる様でした。以上がインドの仏跡のみのご報告です。まだまだお伝えしたい感動も沢山あるのですが、紙面の都合でほんの一部しか語られず残念に思います。

しかし、今回のインド団参は生涯忘れる事の出来ない素晴らしいものになりました。やはり実際に参り参りますと一層お釈迦様を身近に感じる事が出来、自分自身が仏教徒であり、しかも法華経に結縁を受けさせて頂いている事の有り難さに唯々感謝せざるにはおられませんでした。その中でも霊鷲山に参拝させて頂いた感激は何ものにも代えられません。この度は、団員の皆様、県内外のご寺院様や檀信徒のご協力ご支援を頂き無事に円成出来ました事、この紙面をおかりし心より御礼申し上げます。

創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎ (0952) 24-8181



手を合わせるころを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町10-12 23-4308  
〒840-0824 ☎ (0952)

- ・寺院用具一式
- ・前卓
- ・修復
- ・登高座
- ・仏壇
- ・障子
- ・漆物
- ・金物
- ・須弥
- ・美術彫刻品
- ・神像
- ・神像彫刻
- ・宮仏
- ・仏壇
- ・瑠璃
- ・漆器

# 寺院紹介 (九)

## 《真如山 本覚寺》

藤津郡嬉野町大字吉田甲 二六五四



藤井智順住職

本覚寺は肥前鹿島駅よりバス吉田經由嬉野温泉行きで、バス停東吉田下車、徒歩約二分の静かな山麓に位置しています。

### 【歴史】

永正五年（一五〇八）、吉田の吉田太郎左衛門尉藏人が、日蓮宗信徒と協議して、佐賀の本行寺より上人を招き数日間妙法の講説を聞きました。

その後現在地に一草庵を建て、「三宝諸天善神」を安置し、天下泰平・信徒の幸福を願い、先祖の菩提を弔いました。

創建より本行寺住職が兼務して四代続きましたが、天正五年（一五七七）吉田家七代目左衛門太夫の代に、本行寺より

円藏院日良上人を迎え専任住職となりました。そのため開山を円藏院日良上人、開基を吉田太左衛門尉藏人としています。

宝暦年間（一七五一〜一七六三）に現在の庫裡は完成されました。そして安永八年（一七七九）本堂を建立し、翌九年（一七八〇）御佛壇位牌所が落成、また山門もそのころ落成しました。

昭和五十三年（一九七八）に当時の日蓮宗管長金子日威猊下（池上本門寺貫首）を迎え日蓮聖人七百遠忌の法要を厳修し、合せて本堂の改修（屋根、瓦ふき）、駐車場を新設し寺観を一新しました。

現在立教開宗七五〇〔平成十四年（二〇〇二）〕、そして創建五百年〔平成十九年（二〇〇七）〕に向けて庫裡の改築等を計画しております。



〈身延山日重上人の大曼茶羅〉

### 【寺宝】

身延山二十世（一如院日重上人）三十世（遠沾院日亨上人）の大曼茶羅、七十三世新井日薩上人（日蓮宗初代管長）の一遍首題が安置されています。特に日重上人は戦国時代に江戸時代に至る日蓮宗の基をつくり、宗門を救ったとして中興の祖とされています。



〈本覚寺の正面〉



仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工  
拜む心で尊い品を

## 梅谷佛具店

TEL092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9  
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)

フリーダイヤル 0120-39-0456

支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4  
-0373

TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号



## 株式会社 冠婚葬祭こころの会

三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

### 総合葬祭

### 有限会社

# 黄城

小城町270

☎73-3938・FAX72-3633